

# 子どもたちは 薬物の危険から 守られているでしょうか



# 1 薬物乱用者の年齢層が低くなっています



- 📌 現在、韓国で検挙された薬物事犯のうち19歳未満の子どもは、5年前に比べて3倍以上に大幅増加しています。
- 📌 もはや薬物から安全な年齢層はありません。

## 2 子どもの薬物乱用はなぜここまで増えているのでしょうか



- 📌 以前は、特定の場所に行ったり、特定の人を介したりして薬物を手に入れていましたが、今では、インターネットやSNSで、簡単に手に入れられるようになりました。
- 📌 子どもたちが薬物に関する刺激的な言葉や映像にさらされることが多く、好奇心から使用するケースが増えています。

### ③ 薬物による健康被害と犯罪に巻き込まれる危険性





📌 育ち盛りの子どもは薬物に敏感に反応し、**大人よりも身体的・精神的な被害が大きくなります**。依存症に至る速度もはるかに速いとされます。

例) 記憶力・思考力の低下、攻撃的な行動、常習的な嘘、発達障害など

📌 青少年期には友人関係を重視するため、友だちにも悪い影響を与えるおそれがあり、**犯罪に巻き込まれる危険性も高くなります**。

📌 子どもを対象とした**薬物犯罪も増加し続けています**。

## 4 徹底した予防こそが 最善の方法です

-  薬物の危険から子どもたちを守るには、**予防が最善の方法**です。
-  子どもたちが薬物にさらされたり、犯罪の被害に遭わないよう、**家庭でも関心を持って注意深く見守ってください。**

### 相談・教育機関



✓ 韓国麻薬退治本部  
:1899-0893

- 全国13地域の市・道支部で訪問や手紙、Eメール、電話による相談に対応しています。
- 医療機関との連携

### 子ども向けの薬物乱用防止教育資料



✓ 学生健康情報センター  
: <https://schoolhealth.kr>

### 入院・外来治療および相談機関



✓ 地域社会内の治療・保護機関  
✓ 中毒管理統合支援センター

### 薬物犯罪の通報

✓ 警察: 112  
✓ 検察: 1301

※相談・教育・治療機関での相談において、個人情報 は 厳重に保護されます。

※本人だけでなく、家族や知人など、身近な方からの相談も受け付けています。